

戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期 /
ビッグデータ・AIを活用したサイバー空間基盤技術
スマートシティ実証研究

利用者へのデリバリーを意識した 都市OSの開発及び実証研究

2020年3月18日

アクセンチュア株式会社
株式会社アスコエパートナーズ
株式会社ARISE analytics
TIS株式会社

実証事業の目的

- 既に福島県会津若松市等で運用されている都市OSをベースとしつつ、Society5.0時代に対応した、さまざまな分野のICTシステム・サービスが連携可能な都市OSの構築を目的とした実証研究を実施
- 具体的には、以下の3点を目的として本実証研究を行った。
 - 様々なサービスを接続するための**都市OSの機能強化**
 - 都市OSの利用率を上げるために、市民との接点大きい**行政手続き・医療・決済分野のサービス追加及び実証**
 - **スマートシティリファレンスアーキテクチャ策定への貢献**（a-1事業者へのインプット）

都市OSの機能強化

ID管理・レコメンド機能の強化や認証機能やデータ連携機能等のAPI対応による標準化

行政手続き・医療・決済分野のサービス追加及び実証

特に市民との接点が大きく、全自治体共通で必須サービスになると思われる、上記分野のサービス・機能を利用者目線を意識して構築・拡充

他都市に展開可能なSociety5.0の成功事例を創出

スマートシティアーキテクチャ策定へ貢献

本研究開発や会津若松市等で過去実施してきた取組み基づく、組織作りから市民目線でのサービス提供機能に関する知見等を（a-1）研究既発者等のもとより、横展開することで日本全国にフィードバック

実証事業の全体像

会津若松市等で展開してきた都市OS（会津若松+）に関する知見を踏まえ、①会津若松+の強化（ID認証連携機能及びデータ連携機能の実装）（アクセントチュア）を行いつつ、地域QR決済アプリ（TIS）ヘルスケアサービスアプリ（ARISE）デジタルガバメントサービス（アスコエ）の3サービスを新たに追加した。



決済実証について

地域QR決済アプリ

ヘルスケアサービスアプリ

デジタルガバメントサービス



- 会津若松プラスへの認証によって決済がおこなえるID決済アプリ“会津財布”
- 地域の病院を中心に会津若松プラスIDを用いたキャッシュレス決済の実証を実施（2020年1月）

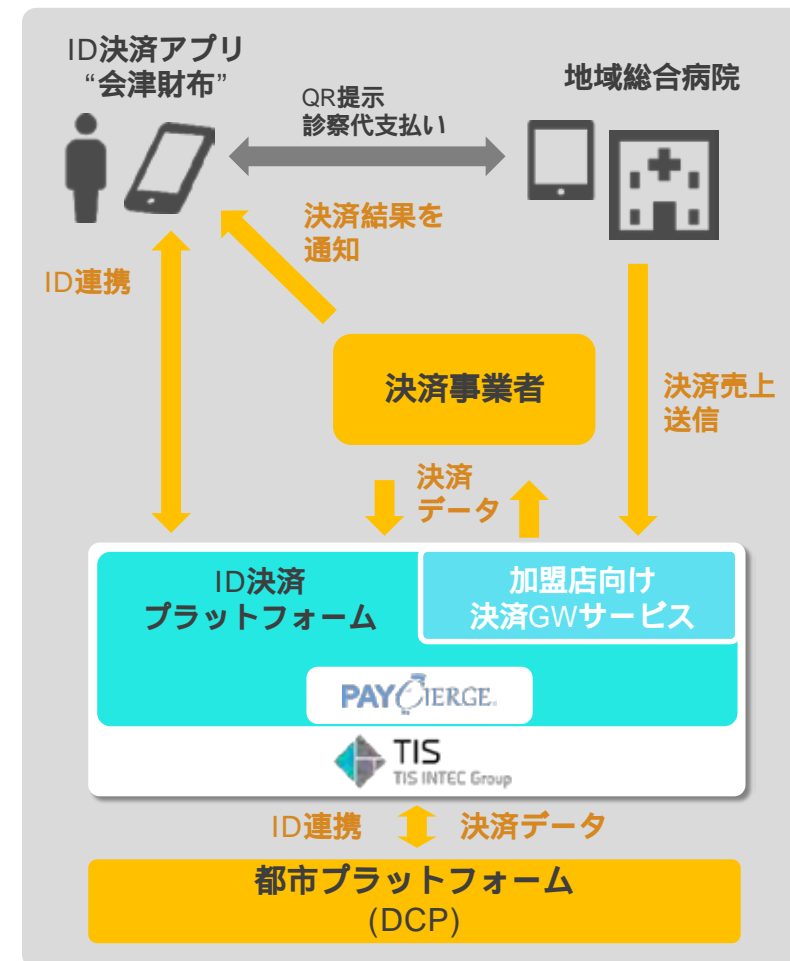


QRコードが表示され
決済ができる



会津若松+ と連携

実証実験範囲



ヘルスケアサービスの研究

健康に対する意識改善の注意喚起機能を提供し、有効性を検証

ヘルスケアサービスの研究イメージ

実証研究内容



- 1 健診結果見える化
- 2 生活習慣病リスク分析
- 3 活動量見える化

- 特定健診結果の表示
- 要注意項目については視覚的に注意喚起
- 特定健診データ等から生活習慣病発症リスクの傾向を導出できるかを検証
- ウェアラブルデバイスからの活動量と連携した動機付けのしくみを提供

会津若松プラスのポータルサイトから、子どもが生まれた時に必要な6帳票 について、一括で申請できる機能を構築

出生通知書、国民健康保険の加入届、産前産後の国民年金保険料の免除申請、児童手当の認定請求、児童手当の額改定請求、ファミタンカード申請

国民年金被保険者関係届書 (申出書)

「〇〇の時」に必要な手続き書類を、一度に作成できます

右側の質問に答えを記入していくと、申請書が自動的に作成できます。

「会津若松+」上のユーザー情報や、一度記入した情報は、必要な項目に自動で転記されます。何度も書く必要がなくなります。

届出(申出)を行う「届書類種別」に該当する番号を○で囲んだうえ、必要事項を記入してください。	届書類種別・番号	届書類・申出年月日/届出(予定)日	届書類種別
A 国民年金被保険者	1 国民年金被保険者届出書	届出(申出)年月日	1. 国民年金被保険者届出書
	2 国民年金被保険者届出書(外国人)	届出(申出)年月日	2. 国民年金被保険者届出書(外国人)
	3 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)	届出(申出)年月日	3. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)
	4 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	4. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)
	5 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	5. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)
	6 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	6. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)
	7 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	7. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)
	8 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	8. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)
	9 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	9. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)
	10 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)	届出(申出)年月日	10. 国民年金被保険者届出書(外国人)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)(再入国)

ポータル（会津若松プラス）におけるレコメンド機能の強化

地域QR決済アプリ
ヘルスケアサービスアプリ
デジタルガバメントサービス



アスコエパートナーズが整理した出産・子育て関連記事の対象読者（ターゲット）の情報を活用し、利用者の子どもの年齢に応じてより詳細に情報を出し分ける形でレコメンド機能を強化

レコメンドなしの場合

レコメンドありの場合

まんべんなく市役所・地域の情報が表示される



妊娠中の利用者の場合

妊娠中かつ2歳児がいる利用者の場合

出産関連の情報が上位に表示される

出産関連情報と子育て支援情報が合わせて上位に表示される



自身に必要な手続きが上位に表示されることで、自ら手続きや制度を探しに行く必要がない

会津若松市において実施した実証結果の概要

会津若松市において実施した各種実証の概要は以下の通り。実際に市民を巻き込み、リアルな現場での実証を実施できた。

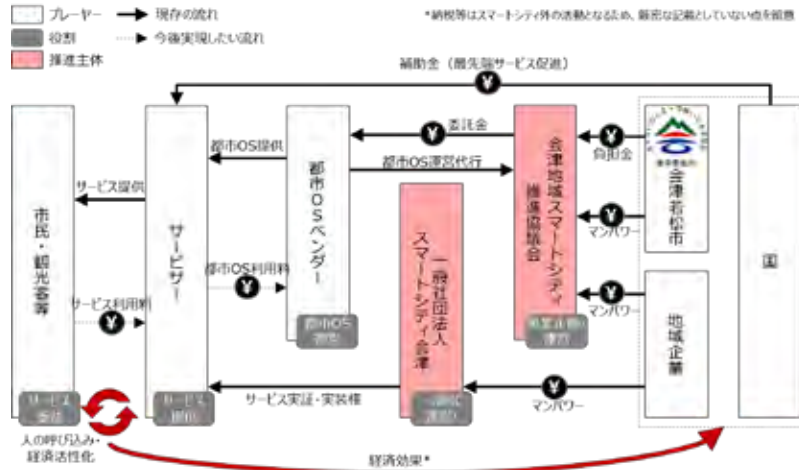
	地域QR決済実証 (TIS)	ヘルスケアサービス実証 (ARISE)	デジタルガバメントサービス実証 (アスコエ)
実証概要	会津若松プラスとID及びデータを連携した地域決済スマホアプリ「会津財布」を開発し、市内の病院での受診のうえ、同アプリでのQRコード決済を行う実証を実施。	会津若松プラスと連携して、行政の持つヘルスケアデータ（健診・レセプトデータ）を活用した健康状態（健診結果・生活習慣病リスク・活動量）の見える化サービスの立上げ及びデータ・機能連携を検証。	必要項目（氏名、住所等）を入力することにより、同内容の情報を複数回入力する必要なく、出生時に必要な複数の申請等を一括で作成可能なサービスを会津若松プラスに実装し、実際に市役所に訪問された方に利用してもらった。
実証期間	2020年1月6日～31日	2020年1月9日～2月29日	2020年2月17日～28日
参加者数	参加者数：8名	参加者数：21名	参加者数：15名
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> 現金をおろし準備しておく必要がなく便利。 スマホ世代にとっては操作は難しくなく便利。 配車サービスなど、ID決済をモビリティと結び付けたら便利なのではないかと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の歩数を一万歩にするために、歩くコースを考えるようになった。健康情報に、敏感になった。 家事労働が思ったより歩数につながっている事を知り、毎日食事を作ったり掃除をするなど身体を動かす事が健康につながると思うと家事労働も悪くないと感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的はわかりやすかった、何度も同じことを書かなくていいというのは非常に良い 入力している内容が合っているのかな、という気持ちになった
実証結果	<p>決済の利便性向上という付加価値に加え、自身の決済データを行政や地域サービスの向上のために活用することについて前向きな意見が多く、地域における決済データ利活用の可能性を見出すことができた。</p> <p>利用者アンケートにて、決済情報を地域のために「提供したい」：60%、「提供に特に問題を感じない」：40%。</p>	<p>サービス利用後のアンケート結果から、実証自体への満足度は非常に高く、健康意識は実証前後で向上する傾向にあることが分かっている。また健康行動についても実証前後で行動変化が起きており、サービス利用することで日常生活の中で行動変化が生まれ始めている。</p>	<p>開発したソリューション、導線、役所と市民との体験変容については、良い成果を上げたと考える。一方で、人によって申請すべき手続きが異なる事もある（例：低体重児の申請）ため、今後は手続きナビゲーションなどが必要だと感じている。</p>



スマートシティリファレンスアーキテクチャの策定（a-1）への貢献

a-2実証@会津若松市として、a-1に以下のインプットを実施

- 地域協議会主体の都市OS運用モデル
- 地域課題起点でのスマートシティ実現事例（ガイドブック）
- サービス連携層における共通サービスの機能要件（コミュニケーションポータル）
- その他各層における会津事例（戦略・政策層、組織層、ビジネス層）



ホワイトペーパーに記載される会津のビジネスモデル（イメージ）



ガイドブックに記載される会津事例（イメージ）

今後の展開

本実証事業を踏まえた、今後の都市OS及びサービスの展開イメージは以下の通り。

- I. 本実証事業を通じて構築された各種サービスについて、都市OSである会津若松プラスとともに、**取組の全国展開・横展開**を図る。
- II. 併せて今回の実証で整理した認証やデータ連携APIを活用することで、**更なるサービスの都市OS上への追加**を図ること
で、より一層市民にとって便利な基盤・サービスへと発展する。
- III. また、利用者側のデジタル化に加え、市役所や地域企業内の業務などについても、**RPAやAI等を活用してエンドツーエンドでのデジタル化**を目指す。



(参考) 実証実験全体像

会津若松 + (都市OS) を中心として、TIS提供の決済基盤、ARISE提供のヘルスケア基盤、アスコエパートナーズ提供の行政手続き基盤と、ID/認証及びデータ連携を実施し、スマートシティ会津若松の更なる発展を目指す。

